



umango

クラウドストレージ  
インポートコネクタ手順書

# 目次

目次 .....	2
クラウドストレージ .....	3
A. 初めての認証 .....	3
B. クラウドストレージインポートコネクタ設定 .....	9

## クラウドストレージ

クラウドストレージをインポートコネクタとして使用すると、「ネットワークフォルダ」をインポートコネクタとして使用する場合と同じように動作します。設定されたクラウドストレージに新しいファイルが受信されると、Umango によってフォルダー内のすべての新しいドキュメントを処理します。このフォルダーを、Umango でサポートされていない複合機のスキャン先として使用したり、このストレージにドキュメントをコピーして貼り付けるだけで、Umango が自動的に処理したりできます。

Umango は、SharePoint、Google Drive、OneDrive、BOX、Dropbox、Docushare Go、Docuware といったクラウドストレージをサポートしています。ほとんどのクラウドストレージの設定は同じです。このマニュアルでは SharePoint を例に説明します。その他のクラウドストレージについては、お問い合わせください。

処理を初めて クラウドストレージに接続する場合は、Auth 認証プロセスを使用して Umango のアクセスを許可する必要があります。クラウドストレージすでに処理を認証している場合は、[クラウドストレージのエクスポート設定](#)に進むことができます。

クラウドストレージを処理ソースとして設定するには、以下の手順に従ってください。

### A. 初めての認証

1. 処理構成で、「ソース(1)」タブをクリックし、「コネクタ(2)」サブタブをクリックしてください。



ソース構成へのアクセス

2. 「コネクタの追加」ボタンをクリックしてください。



編集処理 - 選択可能なPDFに変更

詳細 ソース ユーザ 自動化 インデックス 「ゾーン」 分離 画像の強化 保存先 2

コネクタ デバイス

ドキュメントソース

この処理をすべてのコンピューター/ブラウザーのドキュメントドロップに追加する

以下のインポートソースは、このジョブのプロセスへのエントリ ポイントです。ジョブ サービスの実行中に、ドキュメントは以下の有効なソースからインポートされます。「コネクタの追加」ボタンを選択して、1つ以上のソースを追加します。各コネクタの設定を構成するには、対応するソースの「構成」ボタンを選択します。

有効	コネクタ	優先度	ソースのヒント	説明	アクション
No import sources configured. Click "Add Connector" above					

ソース追加ボタン

3. ご希望のクラウドストレージに「追加」ボタンをクリックします。この例では、Microsoft Sharepoint クラウドストレージを使用します。他のクラウドストレージのマニュアルが必要な場合は、お問い合わせください。



インポートコネクタ

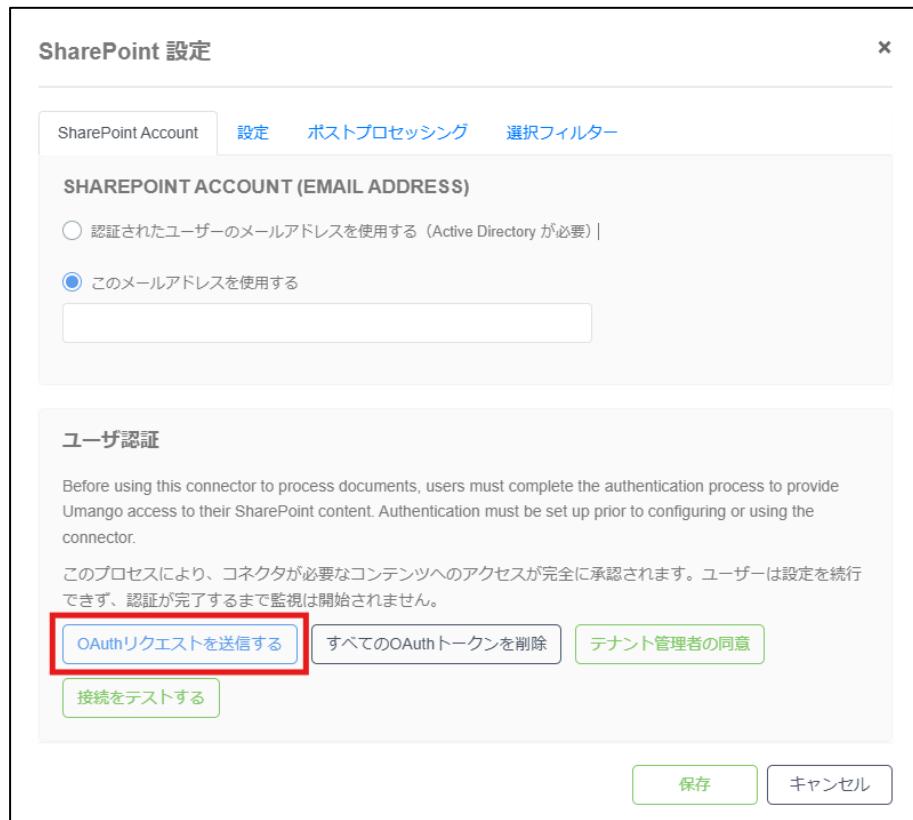
以下のコネクタのリストからインポートソースを追加します。

Search

ソース	組織	業界	カテゴリー	説明
OneDrive (ワンドライブ)	Microsoft	すべての産業	その他	OneDrive/SharePoint からドキュメントをインポートします。フォルダー構造を動的に監視し、受信ファイルを選択的にフィルター処理するオプションが含まれています。
SharePoint	Microsoft	すべての産業	ドキュメント管理	Imports documents and data from Microsoft SharePoint. Browse and select a SharePoint folder and (optionally) its sub-folders. Supports both OneDrive and SharePoint365.
DocuShare Go	ゼロックス	すべての産業	ドキュメント管理	DocuShare Goからドキュメントとメタデータをキャプチャ
Google ドライブ	グーグル	すべての産業	その他	Google ドライブからドキュメントをインポートします。ドライブのフォルダ構造を動的に監視したり、処理されたファイルを移動したり、ファイルのメタデータに基づいてドキュメントをフィルタリングしたりするオプションが含まれています。

ご希望のクラウドストレージの追加ボタン

4. 「OAuth リクエストを送信する」ボタンをクリックしてください。



認証リクエストの送信ボタン

5. 認証したい「メールアドレス (1)」を入力し、「送信 (2)」ボタンをクリックしてください。

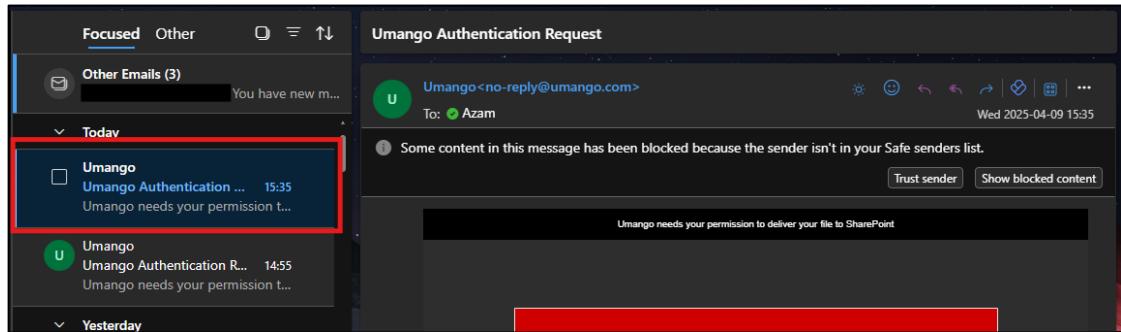
※複数のメールアドレスを入力する場合は、各メールアドレスを読点またはセミコロンで区切ってください。



認証メールの追加

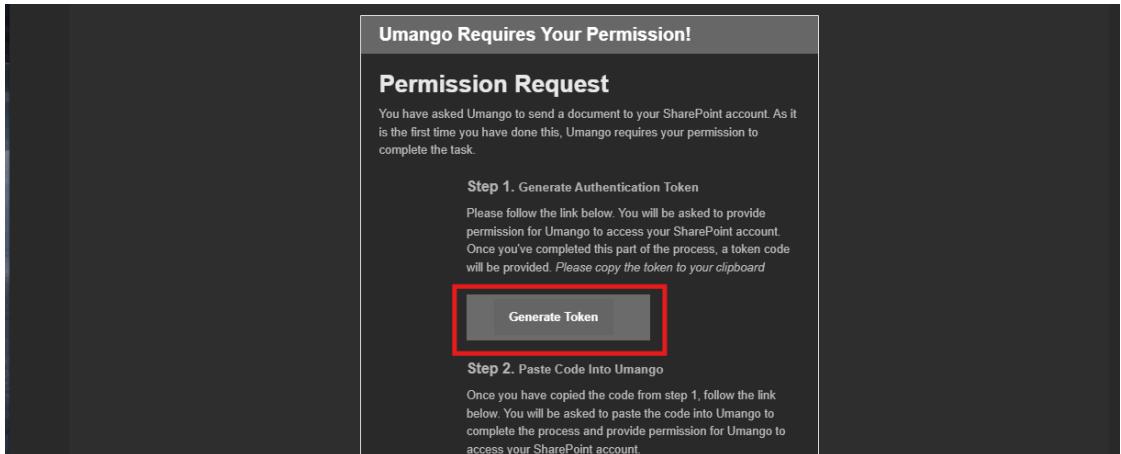
6. Umango 認証メールはメールボックスでご確認ください。

※メールがスパムボックスに到着する可能性があります。



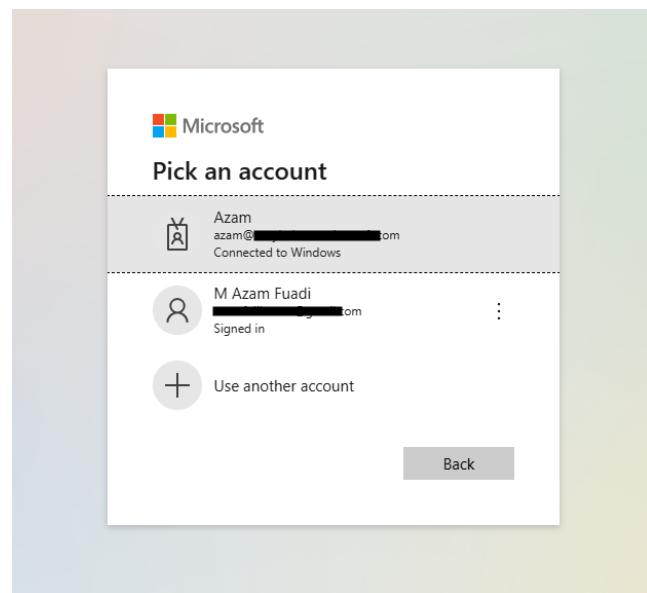
Umango からの認証メール

7. 「Generate Token」ボタン（上から最初のボタン）をクリックしてください。



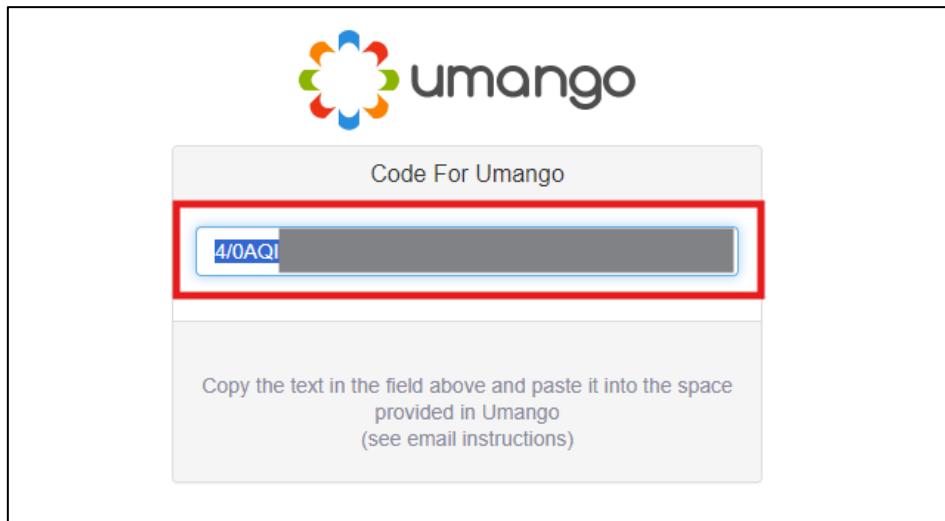
トークンを作成ボタン

8. Umango での認証に使用するアカウントを選択してください。



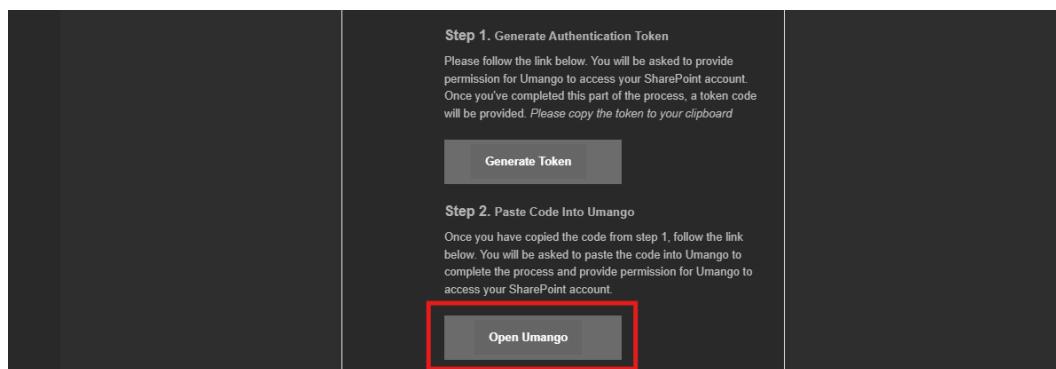
アカウントの選択

9. フィールド内のすべてのテキストをコピーしてください



Umango からの認証トークン

10. 認証メールに戻り、「Open Umango」ボタン(2番目のボタン)をクリックしてください



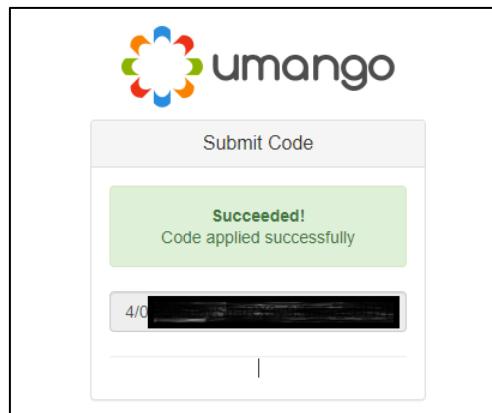
Umango にトークンの追加ボタン

11. テキストを「フィールド (1)」に貼り付けて、「Submit Code (2)」ボタンをクリックしてください



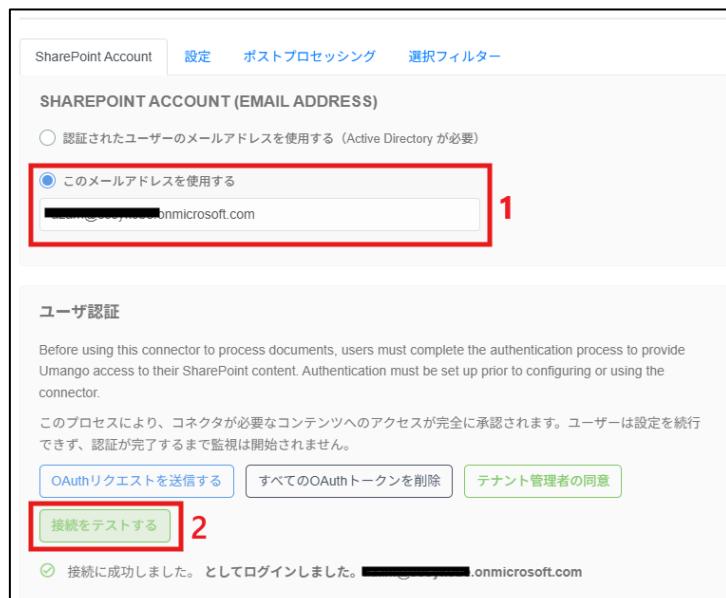
Umango の Sharepoint 認証

12. 緑色が表示されれば認証は成功しており、Google Driveへのドキュメントのエクスポートを開始できます



Sharepoint 認証成功

13. Umango ポータルに戻って、認証済みのドメインを使用するメールアドレス (1) を入力し、「接続をテストする (2) 」ボタンをクリックして認証が成功したかどうかを確認します。



Sharepoint 認証成功

14. 手順 2 から [【クラウドストレージインポートコネクタ設定】](#) セクションに進んでください。。

## B. クラウドストレージインポートコネクタ設定

- ソース構成で、「構成 (b)」ボタンをクリックして、既に作成済みのインポートコネクタを再度開きます。または、「コネクタを追加」をクリックして新しいコネクタを作成し、手順 1~3 の [【初めての認証】](#) に従ってください。



ソースのアクセスタブ

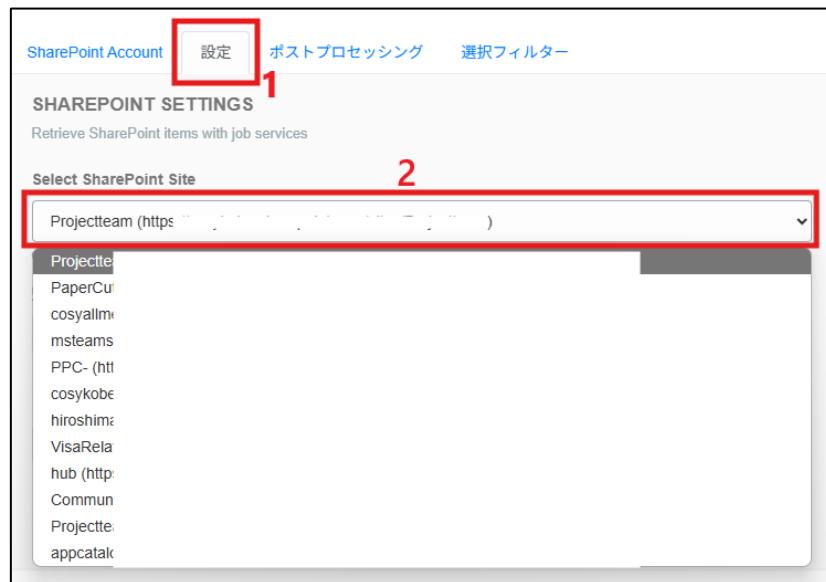
- クラウドストレージにアクセスするときに Umango が使用するアカウントを選択します。

※認証されたユーザーのメールアドレスに基づいて、固定のメールアドレスまたは動的なメールアドレスを使用します (Active Directory が必要であり、テナントアクセス認証に推奨されます)



アカウントの選択

3. 「設定 (1)」メニューをクリックし、「サイトの選択」をクリックして、Sharepoint のサイトを選択します。



「Sharepoint」のサイト選択

4. フォルダー ディレクトリ パスを入力するか、「青いボタン」をクリックしてフォルダー ディレクトリを参照します。



Sharepoint のフォルダ選択

5. Umango がフォルダ内の新しいファイルをチェックする間隔（分）を入力します。



SHAREPOINT SETTINGS  
Retrieve SharePoint items with job services

Select SharePoint Site  
Projectteam (https://.../sites/Projectteam)

Choose a SharePoint site to begin configuration.

監視するフォルダを選択  
Documents/UMANGO/UMANGOのテストフォルダ/ホットフォルダ/パワーポイント翻訳

フォルダをチェックする間隔（分）  
1

圧縮ファイルを解凍する  
 Search all descendants of the watched site/folder

チェックする間隔の設定

6. 圧縮ファイルを自動的に抽出するかどうか、また子フォルダーも監視するかどうかを選択します。



SHAREPOINT SETTINGS  
Retrieve SharePoint items with job services

Select SharePoint Site  
Projectteam (https://.../sites/Projectteam)

Choose a SharePoint site to begin configuration.

監視するフォルダを選択  
Documents/UMANGO/UMANGOのテストフォルダ/ホットフォルダ/パワーポイント翻訳

フォルダをチェックする間隔（分）  
1

圧縮ファイルを解凍する  
 Search all descendants of the watched site/folder

フォルダの設定

7. 「後処理（1）」メニューをクリックし、後処理の影響を受けるファイルを選択します（2）。



SharePoint Account 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

後処理オプション 1

応募先:  
 すべてのリソース  
Umango は、処理されたすべてのリソースを評価してアクションを適用します。

選択フィルターに一致するリソースのみ  
Umango は、フィルタリング ルールに基づいて各リソースを評価します。アクションは、指定された条件を満たすリソースにのみ適用されます。

2

アクション:  
 何もしないで  
 フォルダからリソースを削除する  
 リソースを別のフォルダに移動する

保存先フォルダを選択  
Documents/UMANGO/UMANGOのテストフォルダ/処理されたフォルダ/パワーポイント翻訳

宛先フォルダは監視フォルダーと同じにすることはできません。

ポストプロセッシングの設定

8. 後処理アクションを選択します（何もしない、処理済みのファイルを削除する、またはファイルを別のフォルダに移動する）。

SharePoint Account 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター

後処理オプション

応募先:

すべてのリソース  
Umango は、処理されたすべてのリソースを評価してアクションを適用します。

選択フィルターに一致するリソースのみ  
Umango は、フィルタリング ルールに基づいて各リソースを評価します。アクションは、指定された条件を満たすリソースにのみ適用されます。

アクション:

何もしない  フォルダからリソースを削除する  リソースを別のフォルダに移動する

保存先フォルダを選択

Documents/UMANGO/UMANGOのテストフォルダ/処理されたフォルダ/パワーポイント翻訳

宛先フォルダーは監視フォルダーと同じにすることはできません。

ポストプロセッシングアクションの設定

9. 「選択フィルター (1)」メニューをクリックし、Umango で処理するファイルの種類を入力します。

SharePoint Account 設定 ポストプロセッシング 選択フィルター 1

フィルタールール

Filter File Type 2

ファイルの種類に基づいて、インポートされるファイルをフィルタリングします

\* ポータブル ドキュメント形式 (.pdf) \* JPEG 画像ファイル (.jpeg) \* JPEG 画像ファイル (.jpg)  
\* ポータブル ネットワーク グラフィック (.png)

このリストに含まれていないファイル種類は無視され、処理対象として選択されません。

ファイルタイプフィルターの設定

10. 処理するファイルの名前と作成者をフィルタリングするための正規表現 (Regex) または単語または文を入力します。

フィルタールール

Filter File Type

ファイルの種類に基づいて、インポートされるファイルをフィルタリングします

\* ポータブル ドキュメント形式 (.pdf) \* JPEG 画像ファイル (.jpeg) \* JPEG 画像ファイル (.jpg)  
\* ポータブル ネットワーク グラフィック (.png)

このリストに含まれていないファイル種類は無視され、処理対象として選択されません。

ファイル名のフィルター

REGEX(.\*Umangoスキャン.+")+\$)

名前がこの正規表現ルールに一致する場合（またはルールが空の場合）にファイルを選択します

Filter File Author

UmangoAutomate

Select the file when the author meets this regex rule (or the rule is empty)

ファイル名前フィルターの設定

11. 「保存」ボタンをクリックします。



保存ボタン